



ホットニュース Hot News

◎新着資料おしらせメールを使ってみよう

図書館では、毎週さまざまなジャンルの新しい本を購入しています。新しい本はすぐに予約が入って借りられてしまうものが多く、なかなか皆さんの目に入らないこともあるかと思えます。

「そもそも、どんな本が新しく入っているの？」

そう思ったことはありませんか。そんな時はぜひ、「新着資料おしらせメール」の機能を使ってみてください。図書館HPのトップページ、「新着資料おしらせメール」から、あなたのメールアドレスとお気に入りの著者やジャンルを登録しておく、新しい本

が入った時にメールで連絡が届きます。操作方法などがわからない時は、図書館の職員にお尋ねください。便利に図書館を活用してみましょ！



◀ 新刊本は、入口のすぐ前に並んでいます！



目が見えない白鳥さんとアートを見にいこう

川内有緒/著 集英社インターナショナル

目が見えていても実は全然見ていないことに気づく。2022年本屋大賞ノンフィクション大賞受賞！



パフィン島の灯台守

マイケル・モーパゴ/著 評論社

島に一人で暮らす灯台守と、彼に命を救われた少年は、一羽の鳥を通して、絆を深めていく…。豊富な挿絵も魅力的な児童書。

History Inquiry Club 眞の232 歴史探訪クラブ

文化財課(博物館) ☎22-1720
吉胡貝塚資料館 ☎22-8060
渥美郷土資料館 ☎33-1127



博物館HP



博物館インスタグラム

ようあい 太田洋愛 一牧野富太郎に学んだ

田原出身の植物画家一

この春に桜の名所である東京上野の国立科学博物館において「ボタニカルアートで楽しむ日本の桜—太田洋愛原画展—」が開催されました。太田洋愛(1910~1988)は田原出身の植物画家で、日本において科学的な視点を持った植物画を芸術にまで押し上げ、普及させた立役者です。特に鋭い科学的な観察・確かな技術によって描かれた桜の絵が得意でした。



▲サクラ

この展覧会は3年前、新型コロナウイルス感染拡大のため急遽中止されたもので、当時の関係者の無念は言葉では言い表せません。それでも、洋愛の愛した桜が満開となる季節に、多くの方々の努力によって、改めて展覧会が開催されたことは非常に喜ばしいことでした。

私自身も現地へ足を運びましたが、小さな子どもから外国人旅行客まで、国も年齢も関係なく洋愛の桜の絵の前でくぎ付けとなっている姿は、田原市民として誇らしかったです。

洋愛は、現在放送中のNHK朝の連続テレビ小説「らんまん」の主人



▲ホンシャクナゲ

公・日本の植物学の父と呼ばれる牧野富太郎に植物画の基本的な視点と技術を学び、その精神を受け継いだ植物画家でした。ドラマを機に、植物画ブームがやってきて、洋愛も注目されるのではと期待しています。

田原市博物館でも、今月から太田洋愛展を開催し、遺族から寄贈された初公開の作品を展示します。洋愛の超絶技術と芸術性あふれる作品を、この機会にぜひご堪能ください。

6月10日(土)~7月30日(日)「館蔵 太田洋愛展」
(学芸員 増山禎之)